

4月新着図書



おひとり3冊まで、2週間（新着本は1週間）借りられます。

長生きしたいわけではないけれど。

著者名：曾野綾子

最愛の夫を亡くしながらも、独りの人生を愉しんでいる曾野さん。「人生の達人」が教える、「人生100年時代」を元気に全うする250の心得

歌舞伎座の怪紳士

著者名：近藤史恵

生活に不満はないけど、不安はある。家事手伝いの岩居久澄は、心のどこかに鬱屈を抱えながら日々を過ごしていた。そんな彼女に奇妙なバイトが舞い込んだ。祖母の代わりに芝居を見に行き、感想を伝える。ただそれだけで一回五千円もらえるという。二つ返事で了承した久澄は、初めての経験に戸惑いながら徐々に芝居の世界にのめり込んでいく。歌舞伎、オペラ、演劇…。どれも楽しい。けれど、久澄には疑問があった。劇場でいつも会う親切な老紳士。あの人っていったい何者…？



ドミノin上海

著者名：恩田陸

イグアナが料理されれば盗賊団が上海に押し寄せ、そこに無双の甘党が上陸。風水師が二色に塗り分けられ、ホラー映画の巨匠がむせび泣くと秘宝『蝙蝠』の争奪戦が始まった！革ジャンの美青年がカプチーノをオーダー、一瞬で10万ドルが吹き飛んだら、上海猛牛号で渋滞をすりぬけ、まあとにかく寿司喰寧。歯が命のイケメン警察署長が独走し、青年が靈感に覚醒したとき、パンダが街を蹂躪する！張り巡らされた魔術に酔いしれよ！圧巻のエンタテインメント。

清明

著者名：今野敏

神奈川県警刑事部長に着任した異色の警察官僚・竜崎伸也。着任早々、県境で死体遺棄事件が発生、馴染みの警視庁の面々と再会するが、どこかやりにくさを感じる。さらに被害者は中国人と判明、公安と中国という巨大な壁が立ち上がることに。一方、妻の冴子が交通事故を起こしたという一報が…。益々スケールアップの第八弾！

茶聖 Sen no Rikyu

著者名：伊東潤

利休と秀吉、真の勝者はどちらだったのか？「茶の湯」という安土桃山時代を代表する一大文化を完成させ、天下人・豊臣秀吉の側近くに仕えた千利休。茶の湯が、能、連歌、書画、奏楽といった競合する文化を圧倒し、戦国動乱期の武将たちを魅了した理由はどこにあったのか。利休は何を目指し、何を企んでいたのか。秀吉とはいかなる関係で、いかなる確執が生まれていったのか。戦場は二畳の茶室、そこで繰り広げられる天下をも左右する緊迫の心理戦信長、秀吉、家康……死と隣り合わせで生きる者たちとの熱き人間ドラマ利休の正体は、真の芸術家か、戦国期最大のフィクサーか

野庭すずかけコミュニティハウス

イマジン？

著者名：有川ひろ

走るしか能のない新米突っ走る！行き先は、たぶん未来。

終の盟約

著者名：楡周平

認知症の父の突然死。ある晩、内科医の輝彦は、妻・慶子の絶叫で跳ね起きた。父の久が慶子の入浴を覗いていたというのだ。久の部屋へ行くと、妻に似た裸婦と男女の性交が描かれたカンバスで埋め尽くされていた。久が認知症だと確信した輝彦は、久が残した事前指示書「認知症になったら専門の病院に入院させる。延命治療の類も一切拒否する」に従い、久の旧友が経営する病院に入院させることに。弁護士をしている弟の真也にも、事前指示書の存在を伝えた。父の長い介護生活を覚悟した輝彦だったが、ほどなくして久は突然死する。死因は心不全。しかし、あまりに急な久の死に、疑惑を抱く者もいて一。医師の兄と、弁護士の弟は、真相にたどり着けるのか。

できない相談 piece of resistance

著者名：森絵都

ひとがなんと言おうと、わたしはそれを我慢しない。日常の小さな抵抗の物語。人生って、こんなものから成り立っている。そんな気分になる極上の小説集。



帝都地下迷宮

著者名：中山七里

鉄道マニアの公務員、小日向はある日、趣味が高じて、廃駅となっている地下鉄銀座線萬世橋駅へと潜り込む。そこで思いがけず出会ったのは、地下空間で暮らす謎の集団。身柄を拘束された小日向に、彼らは政府の「ある事情」により、地下で生活していると明かす。その地下空間で起こる殺人事件。彼らを互いにマークする捜査一課と公安の対立も絡み、小日向は事件に巻き込まれていく。

あきない世傳金と銀 8

著者名：高田郁

遠目には無地、近づけば小さな紋様が浮かび上がる「小紋染め」。裃に用いられ、武士のものとされてきた小紋染めを、何とかして町人のものにした一そう願ひ、幸たちは町人向けの小紋染めを手掛けるようになった。思いは通じ、江戸っ子たちの支持を集めて、五鈴屋は順調に商いを育てていく。だが「禍福は糾える縄の如し」、思いがけない禍が江戸の街を、そして幸たちを襲う。足掛け三年の「女名前」の猶予期限が迫る中、五鈴屋の主従は、この難局をどう乗り越えるのか。話題沸騰の大人気シリーズ第八弾！！

